

ALPSスラリー安定化処理設備設置工事開始
ALPSスラリー安定化処理設備設置
(補足説明資料)

2022年12月19日

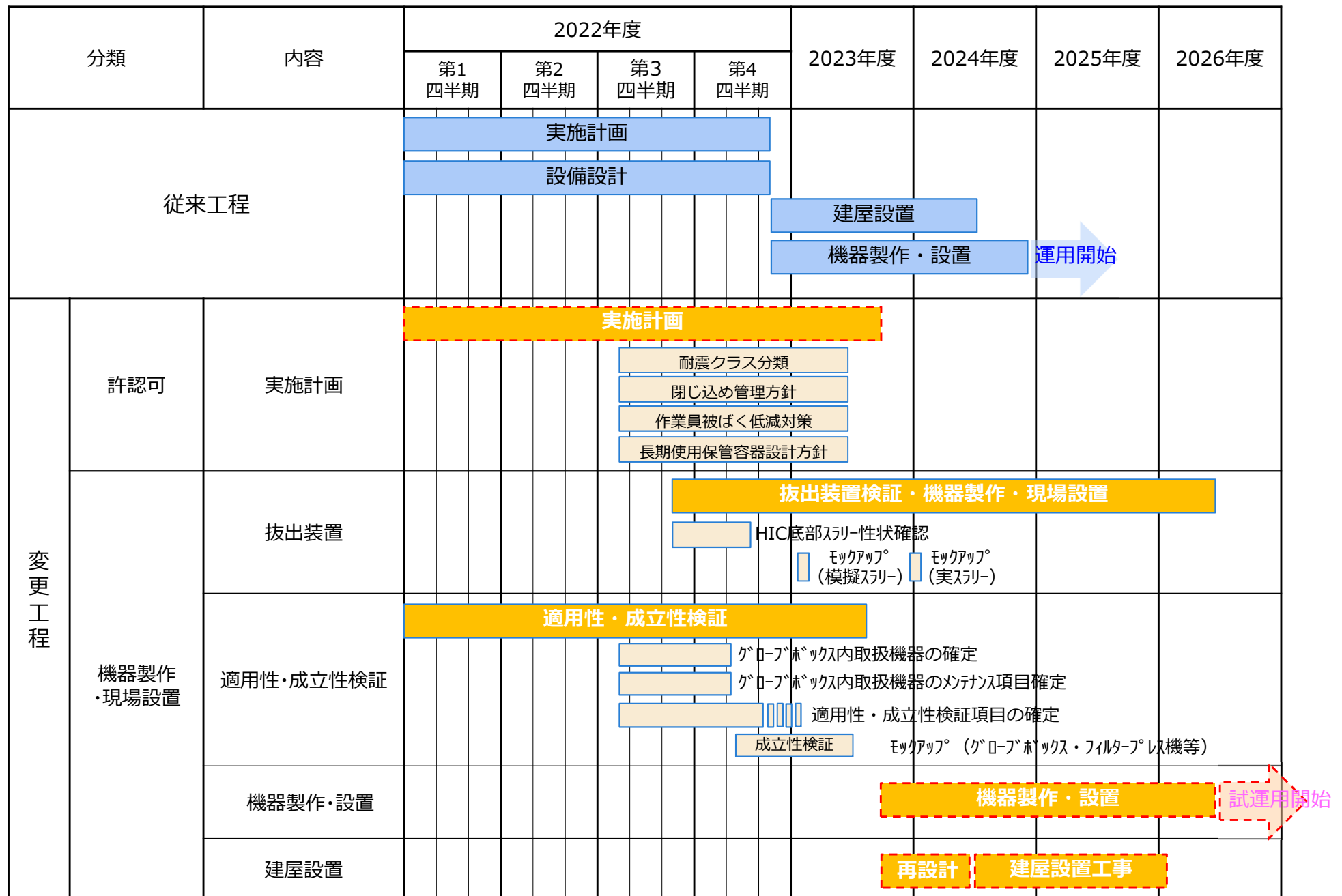


東京電力ホールディングス株式会社

■ スラリー安定化処理設備の設計方針変更

- これまで検討を行っていたフィルタプレス機では、メンテナンス作業時に作業員がフィルタプレス機近傍に立ち入る必要があることから、『メンテナンス性』・『作業員被ばく』の両観点を踏まえ、グローブボックス内で取扱えるようフィルタプレス機本体の小型・簡素化の検討を行う方針に変更した。
- 小型のフィルタプレス機は、現状のフィルタプレス機とは仕様が異なることから、模擬スラリーや模擬グローブボックス等を用いた適用性・成立性確認を実施する。
 - ✓ 適用性・成立性確認における検証項目の整理 ～ 2023年2月
 - ✓ グローブボックス内で取り扱う構成機器の確定 ～ 2023年1月
 - ✓ グローブボックス内で取り扱う機器のメンテナンス項目確定 ～ 2023年1月
- 上記検証項目等の整理スケジュールを踏まえ、2022年度内を目途に全体工程の見直しを行う。

ALPSスラリー安定化処理設備における目標工程【現時点版】



※：変更工程のうち、破線部（ ）については適用性・成立性検証結果により工程変動となる可能性あり

■ HIC保管容量ひっ迫への対応

- 現在のHIC保管容量（4,192基）に加え，第三施設の192基（下図，赤枠部分）の増設およびHIC発生量低減対策によりHICの保管容量ひっ迫時期は，2025年6月頃と想定。
- 上記に加え，さらに192基（下図，青枠部分）の増設エリアを確保しており，合計4,576基のHIC保管容量とすることで，スラリー安定化処理設備の運用開始遅延リスクに備える。
- 更に，全体工程見直し後のスラリー安定化処理設備 運用開始時期を踏まえ，新たな保管場所における増設の必要性について，判断時期を定め，進捗管理を行っていく。

